

化女沼（けじょぬま）

化女沼は宮城県北部の丘陵地と平野部が会うところにあるダム湖。

夏には広範囲にハスやヒシに覆われ、水際にはヨシ、マコモ、ショウブ等が生え、多種多様な水草が見られます。

冬にはヒシクイ、マガン、オオハクチョウといったガンカモ類が数多く飛来しており、重要な越冬地として2008年ラムサール条約湿地に登録されました。

ラムサール条約とは

ラムサール条約は人間や多くの生きものにとって欠かすことのできない湿地を国際的に協力して保全し、次世代につなげていくための条約です。



亜種ヒシクイ



【化女沼ダム管理事務所】
化女沼に住んでいる野鳥や植物などの自然環境に関することや、ダムに関する展示、案内を行っています。



【交通のご案内】

JR 古川駅から車で約20分

東北自動車道長者原スマートICから車で5分

東北自動車道古川ICから車で約15分

【注意事項】

日中に来て、ヒシクイなどのガン類は見られません。
写真撮影の際はフラッシュを使わないよう、ご注意ください。
危険ですので、ダムえん堤の下には降りないでください。

【問い合わせ先】

大崎市産業経済部農林振興課

〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号

TEL:0229-23-7090 FAX:0229-23-7578

発行 / 大崎市

ラムサール条約湿地

化女沼

自然との共生を目指して



ガン類朝の飛び立ち

冬の早朝、ガン類が周辺の水田へと一斉に飛び立つ、「飛び立ち」が見られます。
観察時刻（日の出前、約30分前頃から目安）

11月はじめ・・・5:30頃

12月はじめ・・・6:00頃

1月はじめ・・・6:30頃



ラムサール条約湿地 化女沼へようこそ

秋から冬にかけて



亜種ヒシクイ



マガン



オオハクチョウ



オナガガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ



ハシビロガモ



ヒドリガモ



化女沼古代の里

宮沢遺跡



宮城県化女沼ダム管理事務所



4月下旬から5月上旬

サワオグルマ



8月中旬

ハス



6月下旬から7月上旬

ノハナショウブ



8月

チョウトンボ

春から夏にかけて



※写真の中の時期は、主に見られる期間です。
年により見られる時期が、多少前後します。